

組織の目標

多摩ニュータウン環境組合

事務局長:富澤 浩
職員数:20人(平成29年4月1日時点)

■組織の役割

- ①ごみ処理施設の設置及び運営に関すること
- ②廃棄物のごみ処理施設から最終処分場までの運搬に関すること

平成29年度

(年度当初用)

■組織の目標

多摩ニュータウン環境組合・多摩清掃工場の経営方針として定める「環境にやさしい安全で開かれた多摩清掃工場」を目指し、安全で安定的な工場運営、将来を見据えた健全な組合経営、そして多摩清掃工場についてのご理解と地域連携をより一層推進することを多摩ニュータウン環境組合の目標とする。

■組織の取り組み方針

多摩ニュータウン環境組合は、以下の方針に基づき各々が仕事に取り組む。

- ①ごみをより安全で安定的に処理する。
- ②合理的で効率的に組合経営を行う。
- ③地元自治会や周辺事業所等と連携を進め、清掃工場運営への理解促進と協力体制を構築する。
- ④ごみ処理区域の再編に向けて構成市とともに市民の理解促進に努めていく。

■具体的な取り組み

- 1 将来にわたり、現清掃工場の機能を著しく損なわない運転に向け、ごみ処理区域の再編に向けて構成市との検討、協議を進めるとともに他市の清掃工場等の見学会や勉強会を行うことにより地元の皆さんの理解促進に取り組む。【総務課・施設課】
- 2 「中期経営計画「ビジョン2017」(平成25～29年度)の総括を踏まえ、次期の中期経営計画策定に取り組む。【総務課・施設課】
- 3 高齢者・障がい者配慮のJIS規格対応やスマートフォンでの閲覧を考慮したホームページのリニューアルを行う。【総務課】
- 4 構成市と様々な情報共有を進める。【総務課】
- 5 清掃工場焼却施設の南北面の外壁の改修を行う【施設課】
- 6 定期的な基幹設備整備工事を実施し、稼働から20年になる清掃工場の安定稼働に努める。【施設課】

■内部改革の方向性

- 1 環境法令の遵守とともにISO14001に基づき、環境目的・環境目標を定め、その達成に取り組む。
- 2 安全衛生推進協議会、安全衛生委員会による事故0を目指した取り組みを進める。